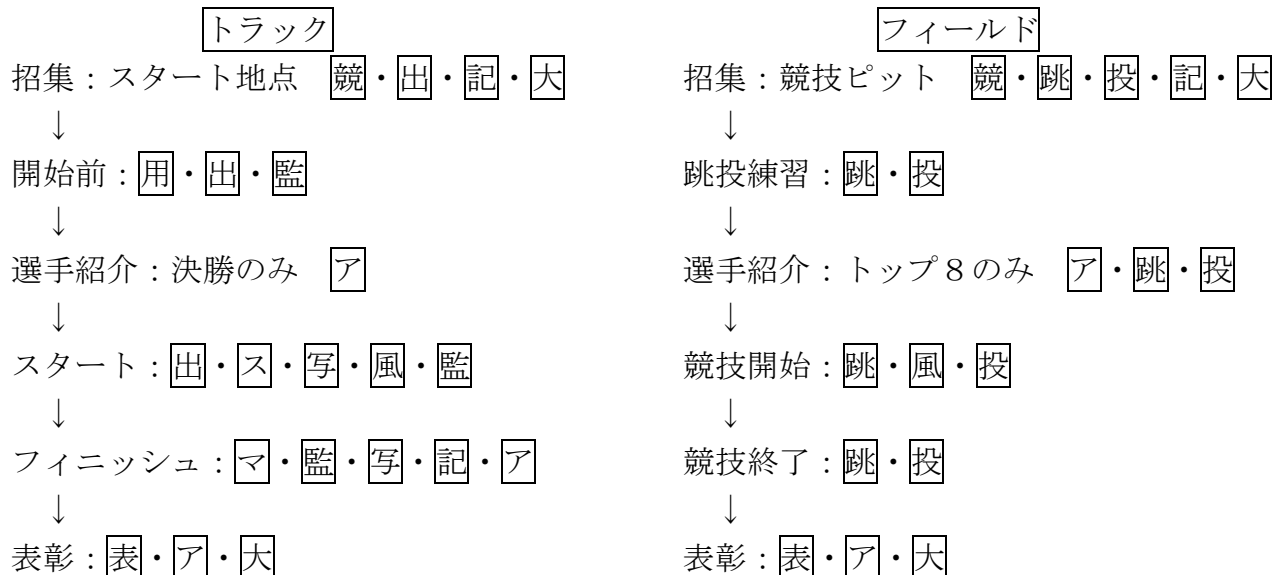


競技役員；コロナ対策マニュアル

【競技役員全員で取り組むこと】

- 競技開始前に、すべての競技用機材を消毒する
- マスク着用、手指の消毒、「3密」の回避に努める（競技者・補助員も適宜指導）
- 競技終了後に、すべての競技用機材を消毒する

【競技会進行のおおまかな流れ】



○総務・総務員

【競技会開催の前提条件】

- 1 緊急事態宣言の解除
 - ① 動制限の解除
 - ② 不要不急の外出自粛の解除
 - ③ 店舗営業自粛の解除
 - ④ 学校において部活動が認められている（※高校生以下の競技会の場合）
- 2 競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められている
- 3 医療機関に新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応の余裕がある状態である
- 4 競技会に関わる全ての人（審判員・競技者など）の健康状態の管理体制を整える（開催1週間前の体調報告・検温の義務、終了後2週間の体調管理・検温の義務）
- 5 陸上競技活動再開についての「競技会開催について」に沿った運営をする

【競技会開催時の注意事項】

- ・競技会開催地および医師会・医療機関の協力を得る
- ・競技者及び競技役員などの体調管理チェック表を最終的に取りまとめ、保管する
- ・コロナ感染の疑いがある競技者、競技役員がいた場合に医師と連携し判断する
- ・競技場内及びスタンドを適宜巡回し、コロナウイルス対策の徹底に努める
- ・保護者、報道関係者などに大会のコロナ感染症対応について周知する

○医師・医務係

- ・医務室の広さを十分に確保し、医師、保健師、看護師のいずれかが医務室に常駐する
- ・コロナ感染の疑いがある競技者、競技役員等がいた場合に総務と連携し判断する

○役員係

- ・受付場所は競技場外に設置し、シールド設置又はフェイスシールドで対応する
- ・受付ではマークを設置してソーシャルディスタンスを確保し、手指を消毒させる
- ・競技役員の体調管理チェック表を取りまとめ、疑義のある場合は、総務・医師等と連携し対応する → 体調管理チェック表の最終管理は総務
 - ※チェック表は2日間の大会では1日目のみ回収。2日目のみ参加は2日目に回収
- ・次の場合は参加させない：検温して37.0℃以上の場合
マスク非着用、体調管理チェックシート未提出
- ・入場許可証&弁当引換券を渡す

○OTIC

- ・受付場所は競技場外に設置し、シールド設置又はフェイスシールドで対応する
- ・受付ではマークを設置してソーシャルディスタンスを確保し、手指を消毒させる
- ・大会総務の指示により競技者及び観客、報道関係者の体調管理チェック表を取りまとめ、次の場合は参加を許可しない
【検温して37.0℃以上。マスク非着用。体調管理チェックシート未提出】
- ・報道関係者及び観客ある場合の観客にはビブスを貸与し競技終了後に回収する

○記録情報係

- ・記録掲示板の掲示はせず、Web活用をする

○競技者係

- ・招集所を開設せず、現地集合とし、トラック種目のみを担当する
- ・スタート地点付近を招集場所とし、競技者の「密」を避けながら運用する

○マーシャル

- ・トラックレース後、競技者に手洗いまたは手指の消毒を徹底するように促す
- ・フィニッシュ地点が「密」にならないよう競技者を速やかに退場させる
- ・決勝レース後に表彰がある場合は、「密」を避けながら待機場所に誘導する

○アナウンサー

- ・コロナウイルス対策についてスタンド観客等を含めアナウンスし指導する

○用器具係

- ・競技用器具使用後は手洗い・手指の消毒をする

○庶務係

- ・感染防止のための物品準備をする
例：消毒液、フェイスシールド、ゴーグル、手袋、マスク、白衣など
- ・昼食引換はマークを設置してソーシャルディスタンスを確保し、個人毎に対応する

○監察員

- ・フィールド競技の招集、退場等で競技者がトラックを横切る時は適宜指導する

○出発係

- ・レーンに入る時の「密」に注意する
- ・長距離レース（3000m以上）は、基本的に2段階スタートで実施する
- ・競技終了後はスターティングブロック、バトンなどを消毒する

○表彰係

- ・競技者や観客等による「密」を避け、大型映像やオンライン配信等の工夫を行う

○跳躍審判員

- ・各ピットで競技者の招集を行う
- ・待機場及びトップ8紹介時における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保する
- ・助走練習時はソーシャルディスタンスを確保するか、競技役員が1人ずつ順番に呼び出す
- ・競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するよう呼びかける
- ・手旗、パソコン、計測器などの共用は極力避けるが、共用する場合には、使用后、手洗い、手指の消毒、機器の消毒を行う
- ・表彰のある時は当該競技者の手洗い又は手指の消毒を徹底し、表彰場所に誘導する
- ・2日間開催の競技会では、2日目は種目ごとに競技役員の集合時間を設定する

○投擲審判員

- ・各ピットで競技者の招集を行う
- ・待機場及びトップ8紹介時における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保する
- ・投てき器具やすべり止めの共用禁止にする必要はない
- ・競技終了後の手洗い・洗顔の徹底を呼び掛ける
- ・滑り止め（炭酸マグネシウム）については、競技役員が適量を直接渡す
- ・投てき練習時はソーシャルディスタンスを確保するか、競技役員が1人ずつ順番に呼び出す
- ・競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するよう呼びかける
- ・手旗、パソコン、計測器などの共用は極力避けるが、共用する場合には、使用后、手洗い、手指の消毒、機器の消毒を行う
- ・表彰のある時は当該競技者の手洗い又は手指の消毒を徹底し、表彰場所に誘導する
- ・2日間開催の競技会では、2日目は種目ごとに競技役員の集合時間を設定する

○ウォーミングアップ場係

- ・集団でのウォーミングアップはやめさせ個別（リレーを除く）に行わせる
- ・ウォームアップ場への立ち入りは競技者のみとし、巡回し「密」がないよう指導する

○補助員係

- ・補助員には必ずマスク（部署によっては手袋）を着用させる
- ・朝の打合せ以外は集合させず、任務終了後は適宜解散させる
- ・適宜巡回するなどして、補助員同士の「密」を避けるよう指導する

競技役員留意事項

一般財団法人山梨陸上競技協会

1 一般的留意事項

- (ア) 日頃より感染リスクを軽減する取組・行動に努める。
- (イ) コロナウイルス感染症が重症化しやすい競技役員は委嘱しないことがある。

【具体例】65歳以上の方

糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方等

※上記のような疾患で心配な時は協会事務局に連絡する

- (ウ) 競技役員として委嘱されたら、事前・事後の検温等の体調管理及び報告を徹底する。

【別添の大会前後の体調

管理表による】

- (エ) 競技会当日の自宅にて：検温し、37.0℃以上の場合は参加しない。
体調不良の場合も参加しない。

- (オ) 競技会当日の競技場にて：受付で検温し、37.0℃以上の場合は参加できない。
必ずマスク着用。非着用の場合は参加できない。

2 競技会実施・運営の留意事項

- ・「コロナウイルス感染防止対策マニュアル」を熟読（自分の部署以外も）し大会運営にあたる。
- ・「3密」の回避徹底を図り、競技者や補助員及び競技役員相互の接触を減らす工夫をする。
- ・競技場の役員控え場所については大会ごとに指示するので、それに従う。
- ・用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末その他共用物の使用後は手洗い、手指の消毒・洗顔を欠かさない。
- ・留意事項1の（エ）については競技会担当に連絡する。

3 競技役員委嘱について

大会開催も流動的で出席票の回収も困難なことから、大会2週間前を目途に、前年度の編成を基にして今年度の登録者及び講習会出席該当者を中心に委嘱する予定です。